

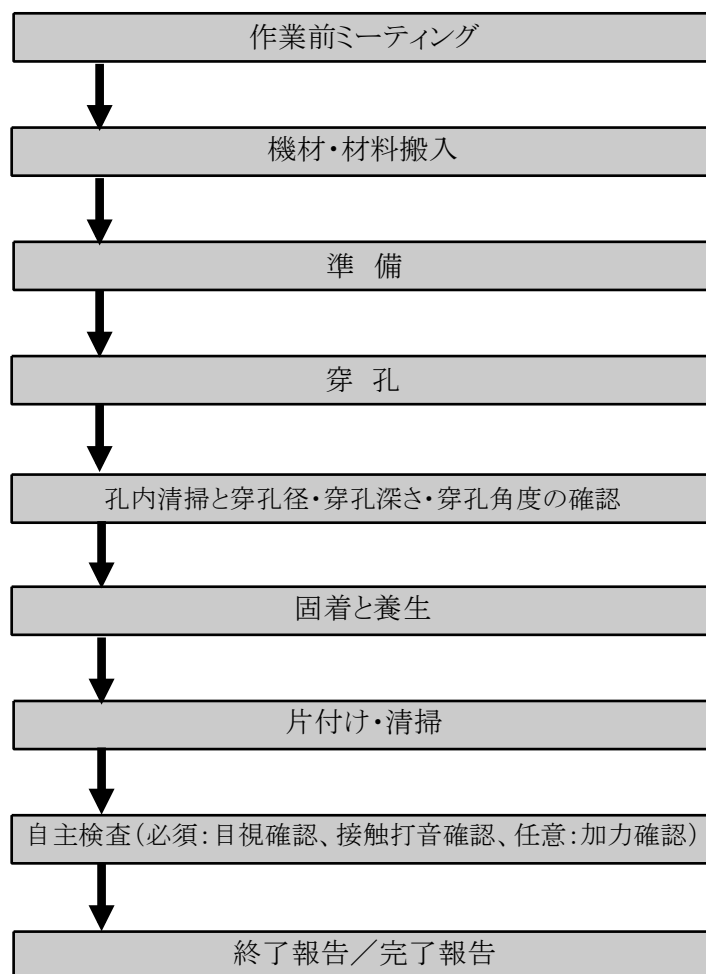
あと施工アンカー工事
接着系／(カプセル式)

標準施工手順

現場名

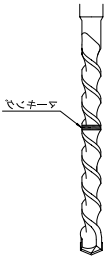
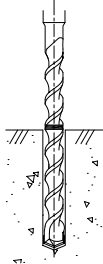
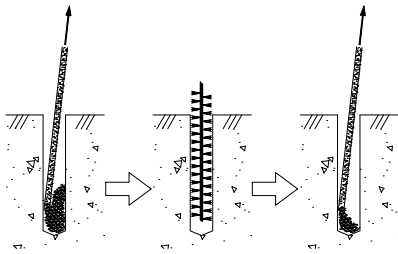
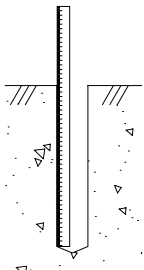
社名

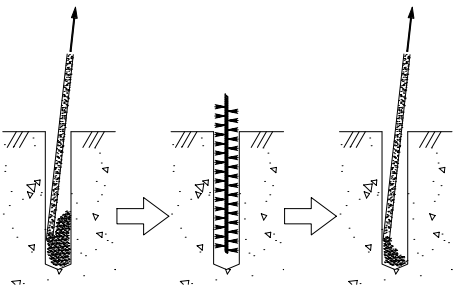
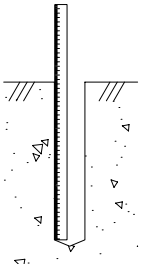
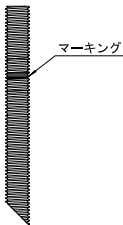
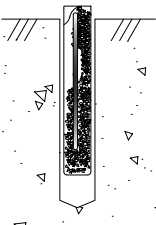
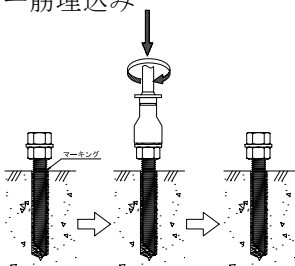
- (1) 作業前ミーティング
- (2) 機材・材料搬入
- (3) 準備
- (4) 穿孔
- (5) 孔内清掃と穿孔径・穿孔深さの確認
- (6) 固着と養生
- (7) 片付け・清掃
- (8) 自主検査
- 必須:目視確認、接触打音確認
- 任意:加力確認
- (9) 終了報告／完了報告

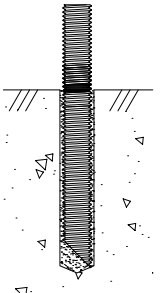


・標準施工手順

施工手順	確認・注意事項
(1) ミーティング	
① 作業前ミーティング	作業員の健康状態のチェック・予定作業の確認。 施工数量・作業手順の確認、搬入時通路の確認。
(2) 機材・材料搬入	
② 足場等施設の確認	作業区域、場所で安全に作業出来るか作業主任者の点検 ※足場が不安全な場合は管理者と協議し修正をお願いする
③ 定着位置の確認	図面および管理者立会いのもと確認を行う
④ 機材・材料搬入	指定通路を用いて安全に気をつけて搬入を行う
(3) 準備	
⑤ 準備	施工工具・アンカー筋等の準備・確認 使用する材料の製品・容量・有効期限を確認
⑥ 墨出し(穿孔位置)の確認	墨出し(穿孔位置)を確認する ※墨出しは管理者の業務
⑦ 埋設物の確認	・鉄筋や配管等の位置・深さを確認 ・電磁波レーダー法は、参考最大深度:600 mm (SIR-EZXT) ・電磁誘導法は、参考最大深度:200 mm (PS300) ・電磁波レーダー法は、鉄筋・塩ビ管・空洞を探索対象 ・電磁誘導法は、鉄筋のみ探索対象

(4) 穿孔	
⑧ コンクリートドリルの選定	所定のビット径、有効長のドリルの選定
⑨ マーキング 	コンクリートドリルにマーキング または穿孔深さ調整機構による設定
⑩ コンクリートの穿孔 	コンクリート面に対し直角に穿孔
(5) 孔内清掃と穿孔深さの確認	
⑪ ブロワー・バキューム等で清掃する 	穿孔後、孔内の切粉を吸塵 孔内に残留物が無いか確認する
⑫ 穿孔径と穿孔深さの確認 	ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測
⑬ ブラシがけ	穿孔深さや径に適合したブラシを用いて、孔壁面に付着している切粉を十分に掻き落とす

⑭ ブロワー・バキューム等で清掃する 	・再び孔内の切粉を吸塵 ・孔内に残留物が無いか確認する
⑮ 再度、穿孔径、穿孔深さ、穿孔角度の確認 	ノギスなどで、穿孔径と孔壁に沿って穿孔深さを計測
(6) 固着と養生	
⑯ ブルーシート等で養生	周囲にエポキシ樹脂飛散が無いように養生する
⑰ マーキング 	孔内にアンカー筋を入れ、施工面の位置にマーキング
⑱ カプセル挿入 	所定のカプセルであること、有効期限内であること、流動性があることを確認したのち、挿入方向を確認して孔内に挿入、吸水が必要なものについては所定の浸水時間の確認を行ったのち、挿入方向を確認して孔内に挿入する。
⑲ アンカー筋埋込み 	・<u>回転・打撃型</u> アンカー筋にダブルナットを取付け、回転または回転打撃を与えながら、一定の速度でアンカー筋のマーキング位置が施工面に達するまで埋め込む 過剰攪拌をしないこと ・<u>打込み型</u> アンカー筋に打撃を与えながら、一定の速度で施工面に達するまで埋め込む

②① 効果養生	所定の硬化時間内はアンカー筋を動かさない
②① ナット取り外し 	アンカー筋等のダブルナットなどの取り外す
②② 硬化養生	所定の硬化時間内はアンカー筋を動かさない
(7) 片付け・清掃	
②③ 片付け・清掃	作業箇所の片づけ・清掃
(8) 自主検査	
②④ 自主検査	必須:目視確認、接触打音確認、任意:加力確認
(9) 終了報告／完了報告	
②⑤ 終了報告／完了報告	当日の作業報告書／工事完了時に提出する報告書